



## 第6節 子育ても仕事もしやすい環境づくり

急速な少子高齢化に伴い、稼働人口が減少している現状に対応するため、女性の労働力は必要不可欠な原動力になっており、女性の仕事と家庭の両立は進みつつあります。一方男性は子育てに責任を果たしたいと思っても、企業等においては職場優先の意識が依然として根強く、育児休業が取りづらい環境です。このため職場、家庭、地域社会の様々な場面で、男女共同参画についての理解を深め、関心を持ってもらうこと、多様な働き方に合わせた、保育環境の整備や働く男女が共に育児休業が取得しやすい職場づくり、安心して仕事と子育てが両立できるような環境づくりや意識改革が必要になってきます。

### (1) 住みたくなるまち白杵の環境づくり

白杵市は、豊かな自然と、安心の食環境があります。若い子育て世代が安心して生活できるよう職場環境や経済的支援に取り組みます。

### (2) ワーク・ライフ・バランスの推進

子育て中の共稼ぎ夫婦や働く一人親が、ライフステージに応じて子育て（介護）の時間、家庭・地域・自己啓発等にかかる個人の時間を確保できるような制度の整備をはじめとした環境づくりに市民や・事業者・行政が取り組んでいく必要があります。

### (3) 父親の育児推進

父親も、子育てや家事を共有し家庭生活を楽しむ時間を持つことで、夫婦間の信頼が高まり、人生の視野が広がるとともに、周囲の協力を得たり、時間を上手に使ったりできるようになります。





## (1) 住みたくなるまち臼杵の環境づくり

### <めざす姿>

- ・臼杵にある山や川、海などきれいな水環境や空気に囲まれ、自然に溢れる環境で安心して子育てができます。
- ・臼杵にある歴史的町並みやすばらしい経歴を残した偉人について学ぶことで、郷土愛を育むことができます。
- ・若者が働く意欲を持ち続けられるような雇用の場を開拓するとともに、より良いパートナーを見つけるための出会いの場があります。
- ・「働きたいけど、働けない」と悩む若者の気持ちに寄り添った支援を受けられます。
- ・中学生や高校生などが早い段階からの職業体験等を通じ、働くことの大切さを学ぶとともに、夢や実感を持って将来の仕事を考えることができます。

### 具体的な取組

#### (1) 臼杵大好き臼杵っ子を育成します。

- ①臼杵が大切にしている山や海などの自然環境を活かした遊びの体験学習を推進します。
- ②祇園祭や竹宵、地域のお祭りなどへ地域の子どもたちが積極的に参加できるよう計画します。
- ③地域振興協議会と連携し、地域の子どもたちへの支援活動を進めます。
- ④中学や高校のインターンシップ関連授業に協力します。

#### (2) 若者が住みたくなる環境づくり

- ①新規就農や農業法人の参入者に、臼杵市の子育て支援情報を届けます。
- ②若者の就労支援や定住支援、婚活事業を推進します。



コンコンチキリンコンチキリン♪ ~臼杵の夏の音♪



小・中学生も竹ぼんぼりづくりに挑戦!



## (2) ワーク・ライフ・バランスの推進

### <めざす姿>

- ・「男は仕事、女は家庭」など、固定的な性別役割分担意識が是正され、男性も女性も、共に家事や育児に参加し、共に喜びと責任を分かち合っ心豊かに暮らすことができます。また、家庭生活と仕事や地域活動を両立させて、充実した生活を送ることができます。
- ・子育て中の人だけでなく、すべての人が仕事と生活の調和を図りながら、家族とともに過ごす時間や、趣味のスポーツ、生涯学習、ボランティア活動など自己実現のための時間を持つことができます。
- ・「子育てをしながら働きたい」、「子どもが小さいうちは育児に専念して、子育てがひと段落したら仕事をはじめたい」といった状況や希望に応じて、女性が働き方を選択することができます。
- ・行政は、労働時間等に関する法令遵守徹底の呼びかけやワーク・ライフ・バランスに関連する諸施策を実施したメリットをPRするなど、事業者に対する情報提供・啓発を積極的に進めています。

### 具体的な取組

#### (1) 労働環境への支援

- ①事業者への労働時間、雇用等に関する法令遵守徹底の呼びかけを推進します。
- ②育児休業やP T A休暇の取得を促進するため、制度化している企業や独自の子育て支援策を取っている企業を支援します。

#### (2) 保育環境の整備

- ①育児休業中の保育所入所に係る基準を緩和し、家庭保育を推進します。

#### (3) 個人の意識の啓発

- ①共稼ぎ夫婦、ひとり親へのワーク・ライフ・バランスについて、企業研修やP T A活動の場を通じ啓発していきます。
- ②父親による育児や介護への参加推進の啓発を行います。



～パパも子育て勉強中～

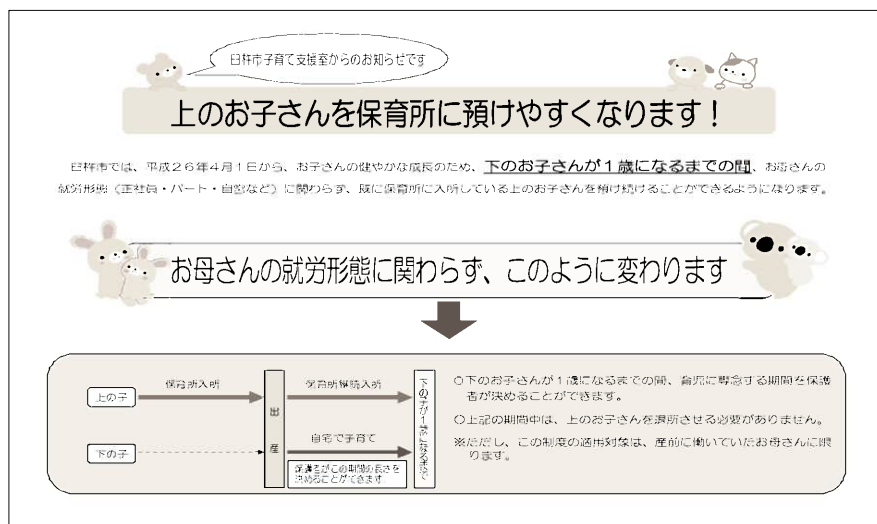
親はもちろんですが、たくさんの方が関わり、育ててくれるから、子どもは成長していくのです。



## トピックス ママの妊娠時・出産後・再就労前の保育所および認定こども園の利用に配慮しています。

### 【その1】育児休業制を利用できないママも安心の子育て

就労していたママが、第2子以降のお子さんを出産した場合、1歳まで家庭で育児していても、上のおさんは保育所および認定こども園を利用できます。



### 【その2】慣らし保育の実施

出産後、再就労前1か月からお子さんの入所を受け入れています。これはお子さんが、初めての集団生活に少しずつ無理なく慣れていくためであり、母親が安心して就労を始めるためのものです。

### 【ワーク・ライフ・バランス】

ワーク・ライフ・バランスの推進には、子育て中の共稼ぎ夫婦や働く一人親が、やりがいや充実感を感じながら働き、子育て期・中年期・高年期といったライフステージに応じて子育て（介護）の時間、家庭・地域・自己啓発等にかかる個人の時間を確保できるような制度の整備をはじめとした環境づくりに男女（みんな・市民）・事業者・行政が取り組まなければなりません。

また、少子高齢化社会のもとで、事業者が必要な人材を確保するためには、老若男女問わず働く意欲と知識・経験を持つ人が、十分にその能力を発揮できるように、仕事と生活の調和のとれた働き方ができる環境を整備するという視点を持つことが重要です。特に、知識・経験を積んだ能力ある女性職員が、出産・育児（介護）等を経ても仕事を続けられる環境の整備や、一般社会に残っている、女性が「家事・育児を担う」という固定的な性別役割分担意識の変革、男性の育児（介護）への参加推進に向けた取り組みが必要です。

さらに、事業者は「ワーク・ライフ・バランスに関する制度は、男女問わず職員一人ひとりが、仕事と育児（介護）の両立ができ、心身共に健やかでいきいきと安心して働くことができるための制度」として積極的に取り入れていく事が求められています。



### (3) 父親の育児推進

#### <めざす姿>

- ・父親も、子育てや家庭生活を楽しむ時間を持つことができます。
- ・子育てを経験することで、視野が広がるとともに、周囲の協力を得たり、時間を上手に使ったりと段取り力の向上も期待できます。
- ・家事や育児の楽しみや大変さを共有することで、夫婦間の信頼が高まります。
- ・父親が活躍できるような子どもとのふれあいの場にたくさんの父親が参加します。
- ・家族のふれあいが増えることは、子どもの健やかな育ちにいい影響を与えます。

#### 具体的な取組

##### (1) 子育てに対する父親の意識啓発

- ①父親の育児参加を応援する啓発広報活動を進め、自発的な活動団体のパパクラブやイベント開催団体に支援します。
- ②働き方の見直しや、家事・育児に対する男性の意識改革を図るとともに、育児休業制度や法制度の周知を行うため、セミナーやリーフレットの配布等を行います。
- ③父親が参加できるプレパパ教室や子育て教室の開催を推進します。
- ④PTAにおける父親のPTA活動への積極的な参加を推進し、父親の子育てへの参加意識の向上を図ります。

##### (2) 父親の育児参加を可能にする職場環境づくり

- ①男性の子育て支援に率先して取り組む企業に支援します。
- ②企業や事業所に対し、育児・介護休業法をはじめとする労働関係法令の周知を図り、子育て支援を進めることによる企業のメリットを啓発します。

項目	H 25 年度	H 31 年度目標値
父親の育児講座開催数	0 回	10 回

#### パパを楽しもう！

パパが育児や家庭生活にかかわることのメリットはたくさんあります。子どもの健全な成長はもちろん、夫婦の絆が強まり、パパ自身の生活力も磨かれます。

#### 臼杵でも活躍しています。男性の育児参加！

☆すっぽんこの会 …… 臼杵市内の小さい子どもを持つお父さんが中心となり、子どもたちと市内中心部の賑わいづくりのために、季節ごとに楽しいイベントを企画し開催しています。

☆おおいたパパくらぶ … 大分県内のパパたちが絵本の読み聞かせ活動やプレパパ・プレママ向けの講座などを行っています。

